学校番号	1012

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	改訂版チャート式解法と演習シリーズ対応 Set Uo 数学演習Ⅰ Ⅱ AB 基本編［受験編］						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

1，2 年生の復習をメインに進めていきます。毎回、授業後、宿題があります。週 2 回の授業で 2 年分の復習をしていきます。宿題の量は大変多くなりますが、丁寧に問題に取り組むようにしてください。

2　学習の到達目標

・基本的な数学知識を身につける。 ・様々な事象を数学的に考察し、問題を解く過程を表現できるようになる。 ・数学の良さを理解し、自ら数学的な考え方を活用しようとする

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	論理的に考察し表現する力，関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を考察する力，社会の事象などから設定した問題について，適切な手法を選択して分析を行い，問題を解決したり，解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	数学Ⅰ	数と式 集合と命題	a:多項式、因数分解などができる b:集合と命題等で実生活に基づくものを見つけ、発表できる c:不等式の文章題等をつくろうとし、考察することができる	小テスト 定期考査	小テスト 定期考査 発表	宿題 演習ノートの取り組み
	数学Ⅰ	2次関数 図形と計量 データの分析	a:関数のグラフを書くことができる。三角比を使うことができる b:データの整理をすることができ、身近な問題に対して発表できる c:三角比を使った問題をつくろうとし、考察することができる			
2学期	数学A	図形の性質 場合の数 確率	a:重心・内心・外心の意味を理解し、問題を解くことができる b:円の性質を理解し、身近な図形に対して興味関心を持ち、発表できる c:円の性質を使った問題をつくろうとし、考察することができる	小テスト 定期考査	小テスト 定期考査 発表	宿題 演習ノートの取り組み
	数学Ⅱ	式と証明 複素数と方程式 図形と方程式	a:式を証明する方法を理解し、問題をとくことができる。 b:複素数の考え方を応用し、身近な問題に対してあてはめ、発表することができる c:図形への関心があり、図形と方程式について考察することができる			
3学期	数学Ⅱ	指数関数対数関数 微分法と積分法	a:指数、対数の方程式を解くことができ、グラフを書くことができる b:指数、対数の身近な例を考えることができ、発表することができる c:微分法・積分法の計算を主体的に取り組み、考察することができる	小テスト 定期考査	小テスト 定期考査 発表	宿題 演習ノートの取り組み

3学期	数学B	数列 統計的な推測	a:等差数列、等比数列について理解できている b:階差数列、群数列について理解できていて、人に説明することができる c:統計的な推測をして、身近な問題について考察することができる	小テスト 定期考査	小テスト 定期考査 発表	宿題 演習ノートの取り組み

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度